



フェアトレードショップ

# accha 通信

2011年 11月 第13号



## 「アチャ 6周年イベント」のお知らせ

皆様の 暖かいご支援に支えられ、この12月で accha は オープンから 6年を迎えることができました。心から感謝とお礼を申し上げます。今年もまた、下記の日程で 6周年のイベントを開催致します。皆様のご参加をお待ちしています。

- ❖ 日時 12月3日(土曜日) 14:00～16:30  
(会場内でお買物ができますので 13:00に開場致します)
- ❖ 場所 南森町イシカワビル 地下1階 会議室 (アチャの斜め前のビルです)
- ❖ 内容 14:00～15:00 おはなし「放射能汚染から食品・健康・子ども達を守ろう」  
大阪革新懇 事務局長 服部信一郎さん
- 15:15～15:45 フェアトレードのファッションショー
- 15:45～16:15 ライブ「さかなんこ」夫婦デュオによるフォークソングなど
- ❖ 参加費 500円 (フェアトレードのコーヒー・チャイなどのお茶代です)  
★ マイカップをご持参下さい。

### 🌻 会場内では 🌻

❖❖ 奈良県農民連「旬の里・まみが丘」からの安全・安心のお野菜などが買えます。  
「明日村ツアー」でも大好評でした。お買物袋をご持参下さい。

### ❖❖ フェアトレード商品の交換バザー

着なくなった服や使わなくなったバッグ、アクセサリーなど、フェアトレードの愛着品を安く(1000円位まで)交換バザーをしましょう。  
売上金の全額をフェアトレード団体ネパリ・バザー口を通じて 東日本大震災の義援金とさせていただきます。

私は東日本大震災で被災し、原発の恐怖に、仙台から避難してきました。仙台は原発から遠く離れているのに恐怖？避難？と思う方もいるかもしれませんが、でも私には、3人の娘と1人の息子がいます。様々なデータを調べましたが、どれも子供への安全性を納得できるものはありませんでした。私は震災前からシングルマザーで、子供2人を育てているため、子供に対する責任も分け合う相手もいませんでした。

思いはただひとつ。「5年後、10年後、子供達が原発の影響でガンになったりして、私より先に死なせたくない。」

私は、これまで仙台で、日本をできる国際協力活動を行ってきました。

「あーすらいふ仙台」という団体の代表をして、フェアトレード商品をイベントで販売したり、高校生向けにフェアトレードを題材とした国際理解教育を実施したり、関連する団体との交渉を企画したり、国際関係のイベントに関わったりするなど、仙台で国際協力活動が広まるようにいろいろな取組をしてきました。

そんな私がアチャハ足も運ぶのは自然なことでした。「大阪でもフェアトレードの取組をしているお店がある！」行ってみたら店主の阿亨地さんの素敵な人柄に、すっかり魅了されて、家族3人全員をスローライフツアーにも参加させていただきました。アチャハ私にとって、大阪で心が休まる、そして元気にさせてくれる大切な場所になっています。

避難のために大阪に来れたのも、様々な人のつながりに導かれ、出会いや縁のおかげでした。この出会いや縁に感謝しています。今度は自分が見直しできるように、子供との時間を大切にしながら、一日一日しっかり生きていきたいと と思っています。

ありがとうございます。

中津川 勇志

acchaでの東日本大震災への取組み

- 3月26日 救援物資(チョコレートや子供服)
- 4月11日 皆様からの支援募金100,000円
- 7月11日 " 80,000円
- 8月20~21日 被災地を訪問しました。

ネリ・バザ・ロさんを通じて被災地へ送らせていただきました。

アチャハは引き続き被災地支援を続けさせていただきます。



私は3・11をきっかけに、放射能、自然エネルギーについて調べるようになりました。調べれば調べるほど、自分にも何か出来ることはないか、未来のために何か行動したいと思うようになりました。

自分には一体何が出来るのだろうと考えていた、そんな中、思いきって参加したボランティアのミーティングで、「福島の子供たちを夏休みに関西に呼ぼう!! としってお父さんお母さんにゆっくりしてもらおう!!」という内容の「のびのびキャンプ」に誘われました。

お金も食材も1週間分どうしよう... から始まり、いろんな事が不安だらけのスタートでした。大阪は、気にしなければ何もなかったような平和な日常です。その状況の中で、声に出す事は少し勇気が「いりました。でも思いきって声に出してみたら、どうしたらほとんどの人が「私に出来る事はないか」と返事をくれました。

「少しだけどカンパする!」「これ持っていきな」「私、出すものないから参加する」「野菜送るよ」日程ギリギリまで、いろいろ考えて動いてくれました。思い出すと嬉しくってたまらなくなります。皆こんなに協力的で、あたたかい。

今、何が本当か解りにくいこの国で、「本当」を見た気がしました。人と人がつながっていく事は、未来はきっと明るい。楽観的な言葉に聞こえるかもしれませんが、私はどう思わずにはいられませんでした。

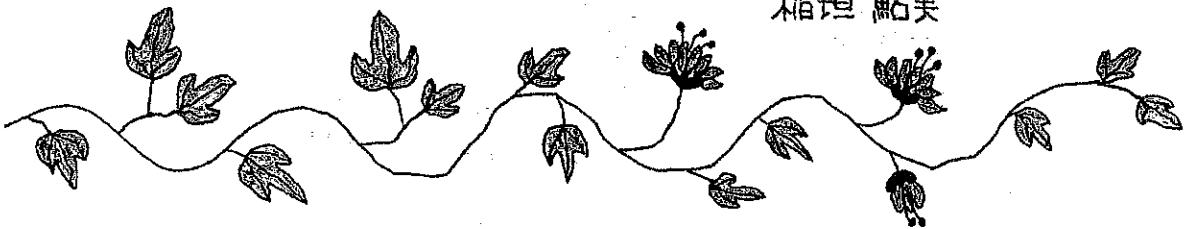
協力してくれた皆様のおかげもあり、キャンプは大成功。子供たちは大はしゃぎ。子供たちに元気になってもらうつもりが、沢山の勇気と元気をもらいました。彼らの未来を壊しちゃいけない。あきらめる訳にはいかない。怒る、悲しむだけではなく、行動することが大切という事を実感しました。

私は無力じゃない。無力な人なんていないんです。

日本はまだまだ... これからです。

笑顔ある未来のために、出来る事をやり続け、つなげていきたいです。

稲垣 鮎美



— 被災地を訪う —

生活の匂いが消えた廃屋に

「解体OK」の文字は哀しく

あきお



# 「愛？気？どう？」



先日、合気道を体験する機会に恵まりました。  
先生に教わったポイントは

- 1) 自分に加わっている力の向きを感じる
- 2) その力に決して逆らわず、むしろその力を助けるように自らを動かす
- 3) その時に大事なものは、余分な力を抜き、完全にニュートラルな状態である

これらができると、気づかば相手が倒れているような。私も実際に倒れました。  
そんな中で気づかされることいくつかあり、今を生きるうえでの大きなヒントのような。


「...力の向きを感じる」とは、自分が今どのような流れの中にいるのを感じる。  
周りの人・モノや出来事から送られてくるメッセージを素直に受け取る。  
そして、その流れに逆らわず、リキまず、ありがたく流れを助ける。

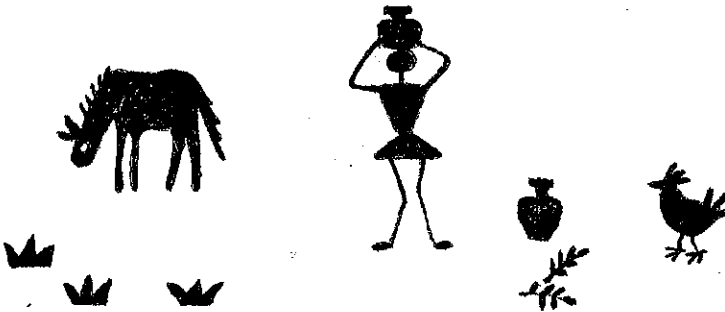
「余分な力」とは思い込み、怒りや恨み、後悔、プライド、競争心、劣等感 etc...  
のこと。

ニュートラルな自分であれば、心にも身体にも周りにも無理なく、みんなが元気で  
いられる気がします。

「合気道」とは、時間・空間を超えた大いなる気の流れに合する道と見つけたり。

合掌

扇町漢方クリニック 鍼灸医 足立尚哉 



フェアトレードショップ

accha

Open 10:00~19:00

日曜日 定休日

大阪市 北区 天神橋 3-2-20

TEL & FAX 06-6357-7739

E-mail: ft-accha@fork.ocn.ne.jp

HP: <http://www.accha.jp>

Blog: <http://ftaccha.blog38.fc2.com/>